

第19期/第5回 サステナビリティ経営研究会

「共助社会の創出と

これからのライフスタイルの探求」

一般社団法人まめな

代表理事 更科 安春

2022.2.16

更科 安春

一般社団法人まめな 代表理事
Mistltoe Japan 合同会社 プロデューサー
1955年生まれ 東京都江東区出身



経歴

大学卒業後、海運業、印刷・制作業を経験したのち、1989年から株式会社イッセイミヤケにて総務人事、広報、知的財産等管理部門から、ブランドマネジメント、ビジネス部門統括取締役。2001年IT業界へ転職、2002年に株式会社 i-support を設立。インターネットコンサルティングを基軸にクライアントへ各種ソリューション提供。2017年から MISTLETOE株式会社にて介護プロジェクトを中心に活動中。

「くらしを、自分たちの手に取り戻す。」



m a m e n a

久比に、「相互扶助コミュニティ」と
これからのライフスタイル探究拠点を創る。

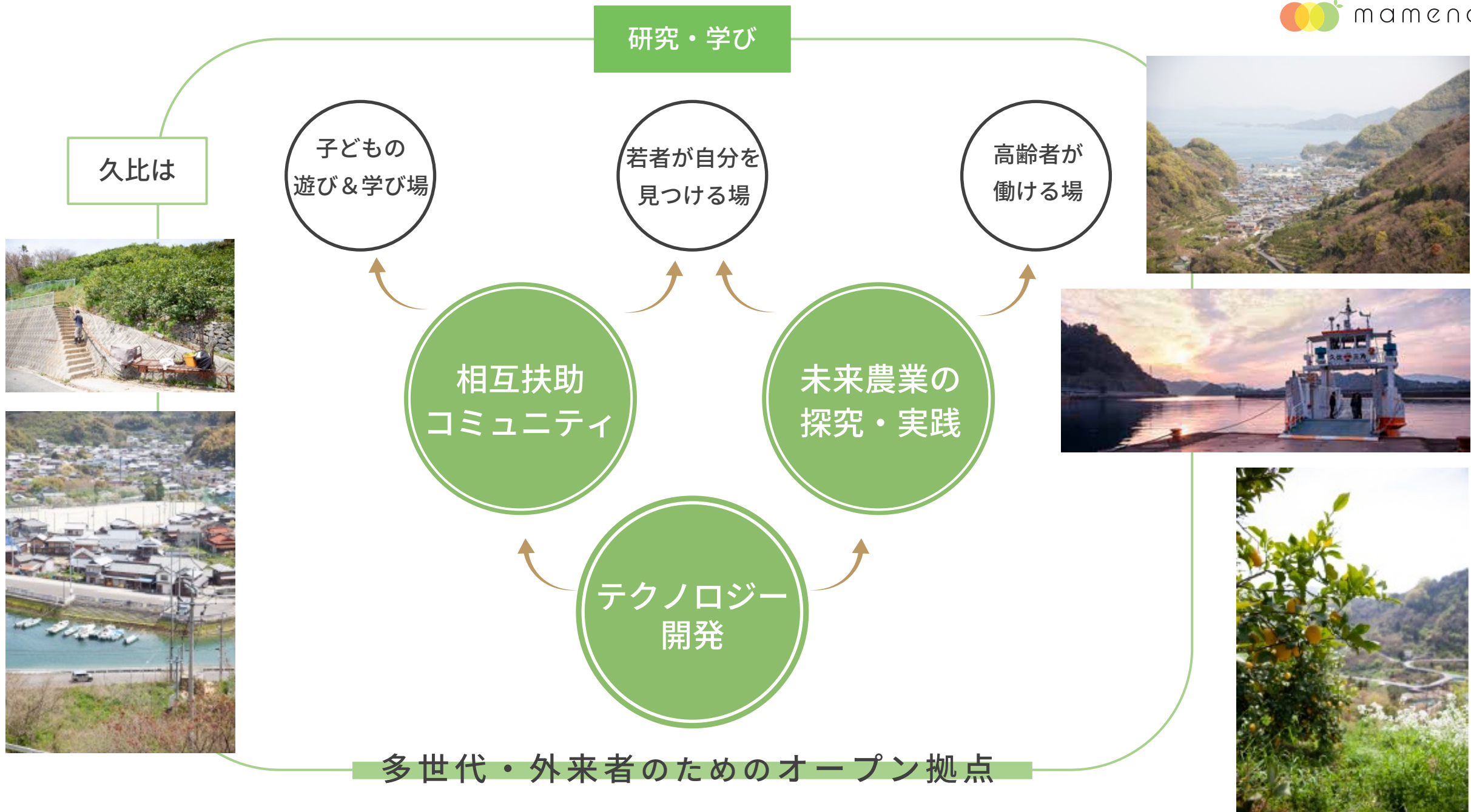


Seto Inland Sea
瀬戸内海

Kubi
久比

人口 約450名

住居等 約300軒



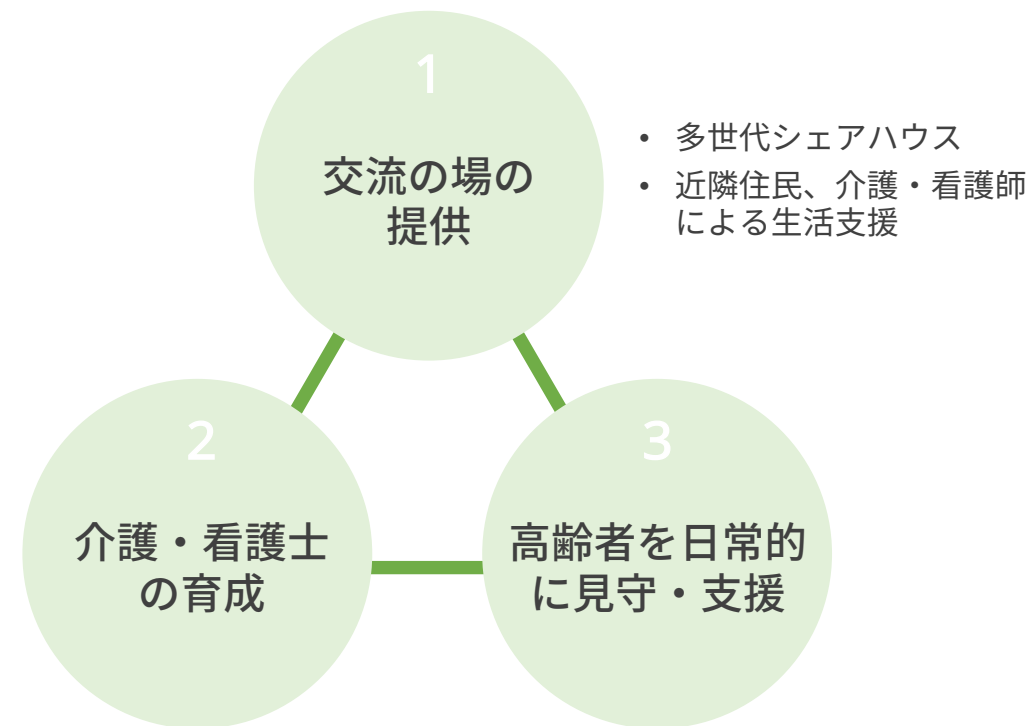
久比ならではの

目的 ①

相互扶助コミュニティ
II

「介護のない世界」を創る

街ぐるみの介護と介護予防



ダブルワーク、パラレル勤務による労働意欲の向上、維持

高齢者の自立期間（健康寿命）を延ばす

久比ならではの

目的 ②

テクノロジー開発・調査、
実証実験が可能な拠点

高齢化 + 遠隔地 + 果樹農地

調査、実証実験が行えるので開発の精度向上と期間短縮が可能。
地域が実証実験に協力することで、新たな収入源を確立する。

1 Elder Tech

高齢者の生活支援のための
技術開発

2 Medical Tech

過疎、遠隔地の医療受診
のための技術開発

3 Agri Tech

未来農業のための技術開発

久比ならではの

目的 ③

未来農業の探究と実践



多様な農法研究

有機栽培はじめ生物多様性を維持するためのさまざまな農法



農地形状の研究

水脈を活かした農地



水質研究

水循環と最適な水



土質研究

土中細菌、微量物質、最適土壌の研究

真の循環型農業の探求



久比ならではの 目的 ④

学 育

子どものための遊び（学び）の場
全ての人の生涯学習の場づくり

カリキュラムや学年のない学校

自身の特性を自分で見つける。

早くから“自分は何者か”を知り自分の得意領域を伸ばす。

「自主性」

子ども自身が自分の興味を持てるものを見つけ、探求する。

「先生はいらない」

大人は伴走者。子どもたちの相談相手。安全の確保。

「だれでも一緒に」

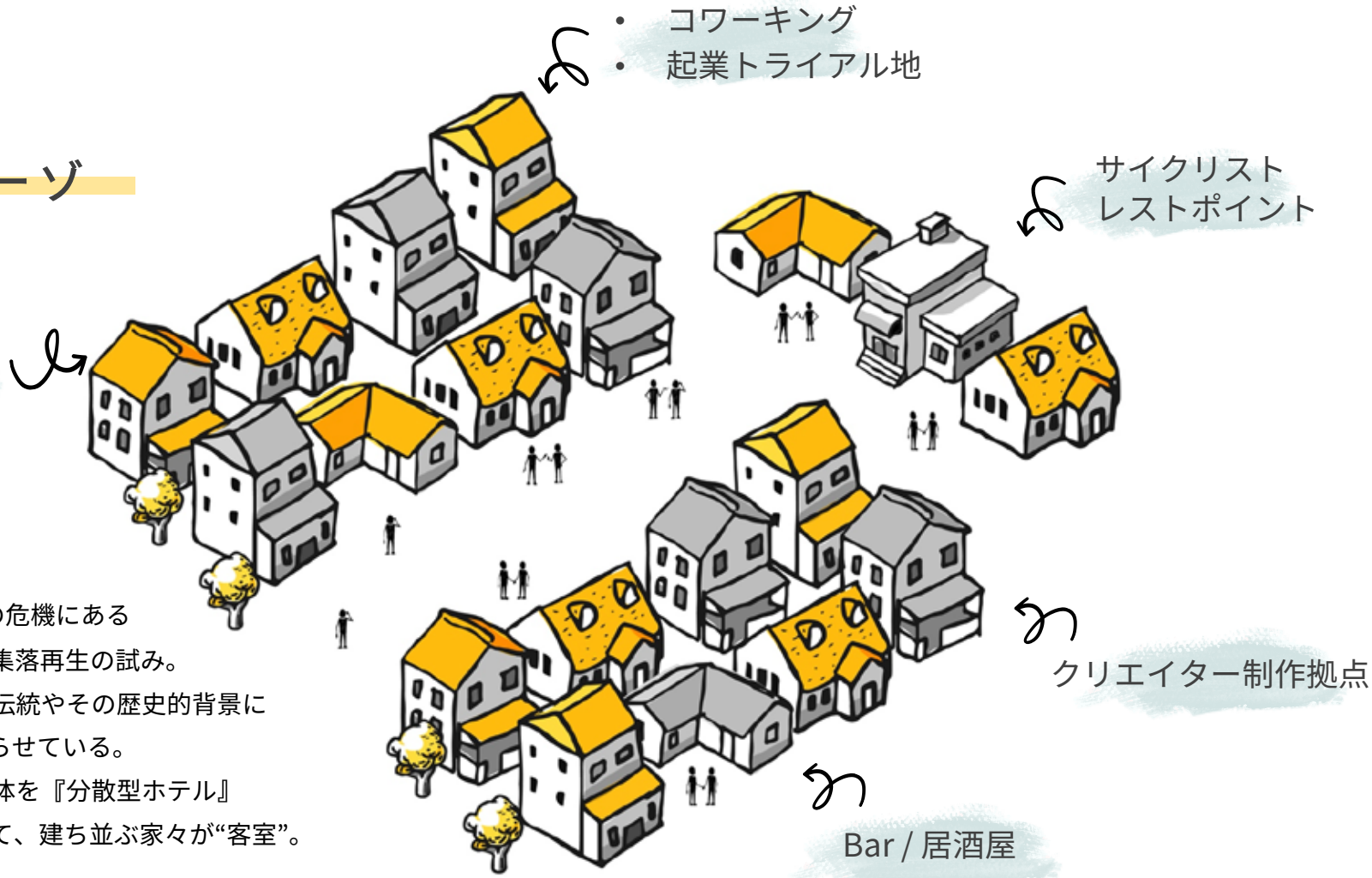
さまざまなハンディキャップ（差異）で分けしない

久比を自らの研究や学びが自由にできる拠点に

Albergo Diffuso

アルベルゴ・ディフーゾ

- 二拠点生活地
- 宿泊施設



分散型ホテル Albergo Diffuso

1980年代初めにGiancarlo Dall'Ara教授が提唱した廃村の危機にあるイタリアの小さな美しい村々に”再び息吹を”という伝統集落再生の試み。数世紀に渡り、主のいなかった邸宅や住居などを、村の伝統やその歴史的背景に惹かれたオーナー自らが意匠に関わり“ホテル”として蘇らせている。アルベルゴ=ホテル、ディフーゾ=分散 すなわち村全体を『分散型ホテル』として再生。村の広場は“ロビー”、通りは“廊下”、そして、建ち並ぶ家々が“客室”。

1 梶原医院【病棟】

これからのワークスタイルと、 都市と地方の関係性を取り直すための拠点

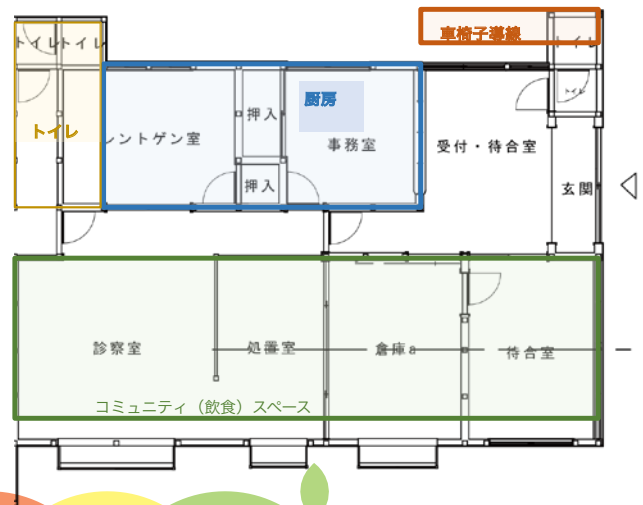
- ・ 都市にグリッドされたワークスタイルを解き放ち、いつでも、どこでも、いくつでも仕事ができるようにする。
- ・ コロナを体験して確証となった、都市と地方の協力共存の必要性、それを実現化する拠点＝多拠点生活の推進。
- ・ 人と自然の関係性を見直すための拠点。
都会では得られない自然に対する感性を磨く。



2 梶原医院【病院部分】

介護のない世界への入り口

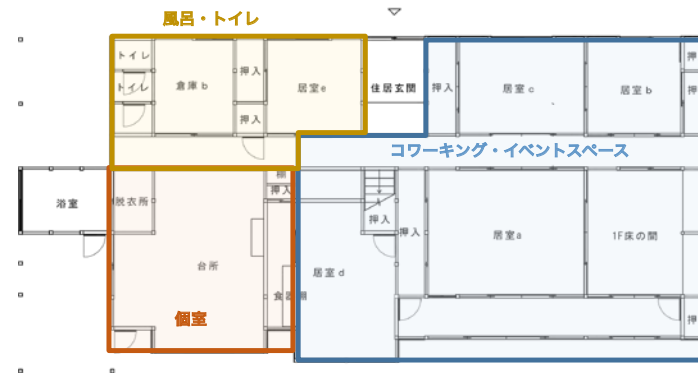
- ・ 常に情報交換ができる場所＝コミュニティ強化、再生
- ・ 健康維持管理のためのアドバイス提供＝ウェイトレスは看護師（Wワークの提供）
- ・ 食べると健康になる食の追求＝シェフたちによる研究拠点
- ・ 個食の見直し、配食サービス
- ・ 地産地消＝サスティナブルな農のために



3 梶原医院【母屋部分】

自分を見つける、再発見する場

- ・ 既成概念を破壊する
- ・ 自立した生活者を育む
- ・ セレンディピティを育む場(異業種、学生と社会人、プロアマチュア)
- ・ アートの実験場
- ・ 農のサステナビリティ研究
- ・ 生活インフラ獲得研究(ガス、水道、電気を自分らでコントロールできるように)



4 梶原医院【別棟】

Wellbeingの探究と実現

- ・ Nurse and Craft の拠点
- ・ 地域の健康、介護相談所
- ・ ARによる健康維持、改善プログラム開発
- ・ IoT在宅診療開発
- ・ 看護師さんのツアー拠点
- ・ 看護師さんたちのワークスタイル研究拠点
- ・ コミュニティナース育成



5 崎原邸

全ての世代が体験と交流を通じて 創造性を育む場 「あいだす」

- ・ 学育の拠点として
- ・ 看護師さんによる 3Dプリンターでの自助具づくりのための Fablab
- ・ 地域のコミュニティスペース カフェ・バー
- ・ 図書館
- ・ 庭や畑は誰もが出入り自由な、体と頭を使った体験の場
- ・ YOUBIとの共同研究による水回りのカセット化 開発実験



久比・三角に

明日の共同体を実現するポイント

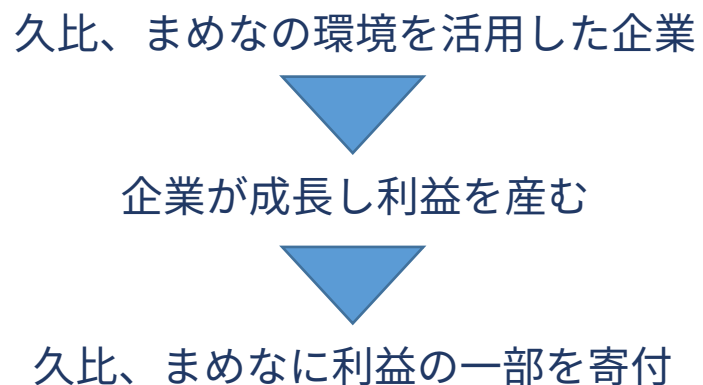


- ● ● 実行する担い手の重要性
- ● ● ソトモノの視点をまちづくりに活かす
- ● ● 地域経済の持続可能性は住民の自主的な取り組みと地域の支援



「稼げる」仕組み、稼いだ資金を再投資し、地域にお金の流れを生む

まめなを持続的に円滑に運営するために 新たなお金の流れを作る



事例1 ナオライ株式会社

ナオライは三角島に拠点を構え、日本の酒蔵の再生と久比産レモンの増産活用を目指し、スパークリングレモン酒「MIKADO LEMON」を製造販売。

現在はさらなるレモン活用拡大の第2の製品として「浄酎」をリリース。



事例2 ナース&クラフト合同会社

地域のみなさんのための訪問看護サービスを提供。勤務体系や過剰労働から離職する看護師を、医療現場に復帰してもらうため、新しい勤務体系、ダブルワークを推奨。
看護師のみなさんと看護以外の事業も推進する。



いま必要な、 明日の日本のための考え方

これからの世代のためにわれわれがすべきことは、世界を良くすること。

そして「世界を良くする仕事」をする人を増やすことです。

久比再生は単に久比地域の復興を目指すだけでなく、未来を良くすることに繋がってゆくと確信しています。

公益志向
利他主義



私益志向
利己主義

